

飛鳥資料館 春期特別展「藤原京を掘る—藤原京一等地の調査—」

今回の展覧会では、奈良文化財研究所がおこなってきた藤原京の発掘調査のうち、左京六条三坊の調査研究成果を紹介します。

この場所は、藤原宮の東に隣接する京内の一等地であり、大和三山の一つで、古代より多くの和歌にも詠まれた香具山の西北麓に位置しています。現在は、奈文研都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）の庁舎が建っています。

1985年から1987年にかけておこなわれた調査では、古墳時代から中世までの遺構を数多く確認しました。なかでも特筆すべきは、コの字形に配置されたとみられる藤原京期の建物群で、四町を占める大規模な施設があったことが判明しました。この大規模施設は、みやこの民政を司った「京職」や「左京職」であったと考えられます。

また、調査では、「香山」と墨書されたものを含む奈良時代の土器が多量に出土しており、平城京遷都後にも活発な土地利用がなされていたことがわかりました。

本展を通じ、藤原京の一等地における官衙の様相や土地利用のあり方などを知っていただければ幸いです。
(飛鳥資料館 若杉 智宏)

会 期：2017年4月28日(金)～7月2日(日) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/asuka/ お問合せ：☎ 0744-54-3561(飛鳥資料館)



東西大溝から出土した
奈良時代の土器

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2017年3月